



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信です。冬本番、皆さんは元気にお過ごしですか？ さて、昨年11月、ユネスコの無形文化遺産に、日本の国指定重要無形民俗文化財である「来訪神：仮面・仮装の神々」が登録されました。これらは、怠け者をいさめたり、幸運を授けてくれたりする神様を、地域の人が仮装をしたり仮面をかぶったりして演じる10の伝統行事で、大晦日や旧暦の小正月に行われています。そこで今回は登録された行事の中から、2月に行われるものをご紹介します。まず、沖縄県宮古島のパーントゥは、2つの系統があり、1つは10月頃、もう1つは2月頃に行われます。2月頃に行われるパーントゥは、仮面をつけるのが少年で、成年女性と少年のみで行われるという珍しいものです。パーントゥを先頭に草冠をかぶって、少年、成年女性の順に並び、ほら貝と小太鼓で調子を取りながら町内を練り歩いて厄払いをします。次に、佐賀県見島のカセドリは、独身男性2人が蓑(みの)を着て、手甲(てっこう)、脚絆(きゃはん)、白足袋、笠を身に着けて鳥に扮します。そして熊野神社の拝殿に走り込み、先が細かく割られた1.7mくらいの竹を床に激しく打ち付けて悪霊を祓った後、町内の家々を回って厄払いをしていくのだそうです。石川県能登のアマメハギと秋田県男鹿のナマハゲはとても良く似ていて、どちらも長時間、暖房に当たっているとできる火ダコをはぐ包丁のようなものを持って、火ダコができるような怠け者を懲らしめにやってくるのです。ナマハゲは、本来の行事としては大晦日に町内の家々を回って行われますが、観光用のお祭り「なまはげ柴灯まつり」が、真山神社を会場に毎年2月の第2金曜日から日曜日にかけて行われています。最後は、宮城県米川の水かぶり。元はお坊さんの修行の一つだったそうで、裸になった男性が、腰と肩にしめ縄、頭に輪っか、草履を履いてかまどのススを顔に塗り神社にお参りをします。神の使いとなった男性は、家々に用意された水を屋根にかけて、火の難をはじめとする厄を払いながら町内を走り抜けるのだそうです。どれも地域の人たちが大切にしている伝統行事です。マナーを守りながら見学したいものですね。では風邪やインフルエンザに気を付けて、冬を乗り切りましょう。

ふれディア通信編集部



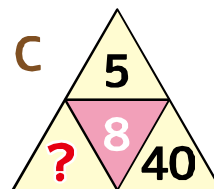
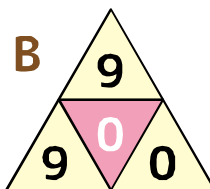
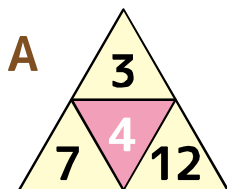
脳トレーニングで
脳年齢を若く
脳を活性化!

Cの三角形の?に入る数字は何でしょうか?

AとBの三角形に入っている数字には、ある法則があります。

その法則に従うと、Cの?に入る数字は何になるでしょうか?

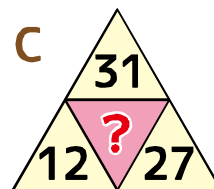
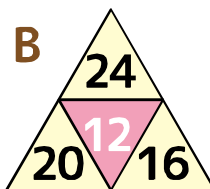
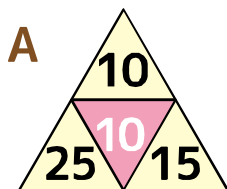
問題1



問題2

ヒント

周囲の数字を
最初に足し算
してみましょう!



“解答”は他のページに載っています。答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります!